

「(次期) 千葉市こどもプラン」
策定に係るアンケート 調査報告書
若者向け

令和6年3月
千葉市こども未来局

目 次

第1章 調査概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査の対象者	1
(3) 調査数	1
(4) 調査期間	1
(5) 主な調査項目	1
(6) 調査の依頼・回答方法	1
(7) 回答状況	2
(8) 報告書の見方	2
第2章 調査結果	3
(1) 回答者の基本属性	3
(2) 結婚に関する現状・希望	6
(3) 子育てに関する希望・環境	10

第1章 調査概要

1 調査の目的

本市では、子ども・若者や子育て家庭が取り巻く様々な問題に対応するため、「千葉市こどもプラン（第2期）」を策定している。

現在の事業計画は、計画期間が令和6年度までとなっているため、令和7年度からの次期プランの策定について検討を進めており、その一環として、本市の子育て施策をより良いものとするために、子育て環境などに関する市民アンケートを実施した。

2 調査の対象者

千葉市在住で子どもを養育していない 16 歳～25 歳の若者

※令和 5 年 8 月 1 日時点

（平成 9 年 8 月 2 日～平成 19 年 8 月 1 日生まれ）

3 調査数

地域ごとの特性を把握できるよう、行政区により以下のとおり区分し、市内在住の若者 5,000 人を無作為抽出した。なお、居所不明などによる未達が 32 人いたため、調査数は 4,968 人となった。

【無作為抽出数】（人）

	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区	計
無作為抽出数	834	834	833	833	833	833	5,000
未達数	4	9	4	6	4	5	32
調査数	830	825	829	827	829	828	4,968

4 調査期間

令和 5 年 7 月 24 日（月）～令和 5 年 8 月 31 日（金）

5 主な調査項目

○結婚に関する現状・希望

○子育てに関する希望・環境

6 調査の依頼・回答方法

インターネット調査（二次元バーコードを記載した依頼文を郵送し回答を得た）

7 回答状況

配付数	回収数	回収率
4,968	1,031	20.75%

8 報告書の見方

- 図中の「n（回答者数）」は、各設問に該当する回答者の総数であり、回答率（%）の母数を表しています。
- 図表の単位は、特に断りのない限り「%」（回答率）を表しています。
- 回答率は小数点以下第2位を四捨五入して掲載しているため、合計が100%にならないことがあります。
- 回答者が2つ以上回答することができる設問（複数回答）の場合、その回答率は100%を超えることがあります。
- 選択肢の一部を省略・編集している場合があります。
- このアンケートにおける「配偶者」とは、事実婚を含みます。

第2章 調査結果

1 回答者の基本属性

問1 あなたの住まいの区をお答えください。

回答者の居住区は「美浜区」(19.4%)が最も多い、次いで「緑区」(17.9%)、「花見川区」(16.2%)の順となっています。(図表1)

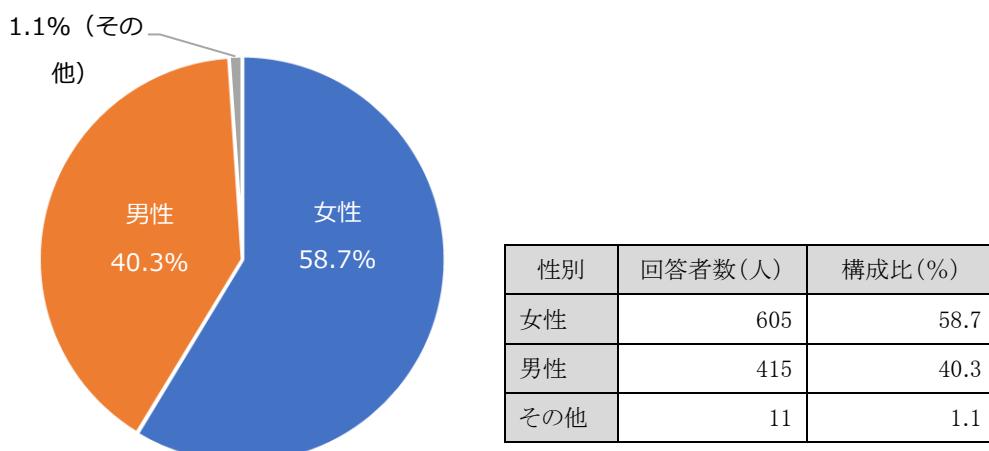
【図表1】回答者の居住区



問2 あなたの性別をお答えください。

回答者の性別は「女性」(58.7%)が最も多い、次いで「男性」(40.3%)、「その他」(1.1%)の順となっています。(図表2)

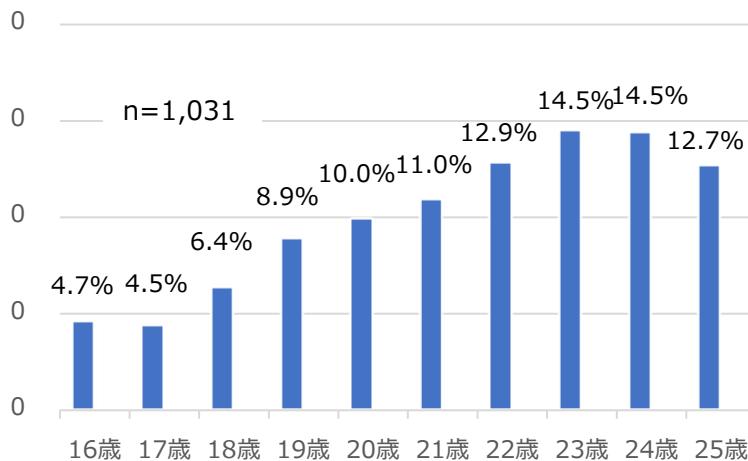
【図表2】回答者の性別 n=1,031



問3 あなたの年齢をお答えください。

回答者の年齢は「23歳」(14.5%)が最も多く、次いで「24歳」(14.5%)、「22歳」(12.9%)の順となっています。(図表3)

【図表3】回答者の年齢 n=1,031

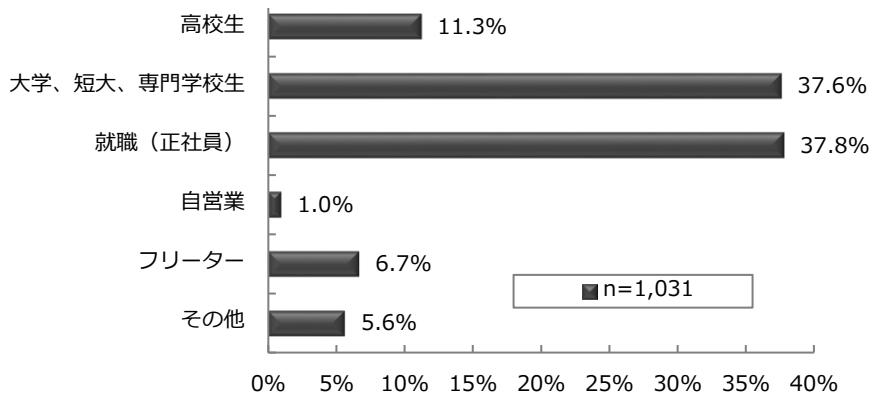


	回答者数(人)	構成比(%)
16歳	48	4.7
17歳	46	4.5
18歳	66	6.4
19歳	92	8.9
20歳	103	10.0
21歳	113	11.0
22歳	133	12.9
23歳	150	14.5
24歳	149	14.5
25歳	131	12.7

問4 あなたの職業をお答えください。

回答者の職業は「就職（正社員）」(37.8%)が最も多く、次いで「大学、短大、専門学校生」(37.6%)、「高校生」(11.3%)の順となっています。(図表4)

【図表4】回答者の職業 n=1,031



	高校生	大学生等	正社員	自営業	フリーター	その他
回答者数(人)	116	388	390	10	69	58
構成比(%)	11.3	37.6	37.8	1.0	6.7	5.6

その他として、公務員、派遣社員、無職といった回答もありました。

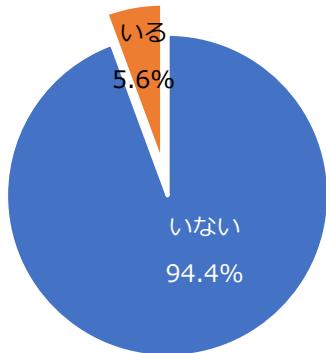
問5 配偶者の有無をお答えください。

回答者の配偶者の有無は、9割以上が「いない」となっています。(図表5)

配偶者のいる方の性別は、7割以上が「女性」となっています。(図表6)

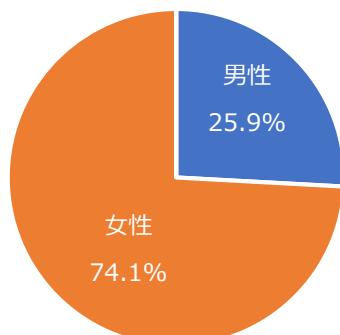
配偶者のいる方の年齢は、24歳を境に急激に増加しています。(図表7)

【図表5】配偶者の有無 n=1,031



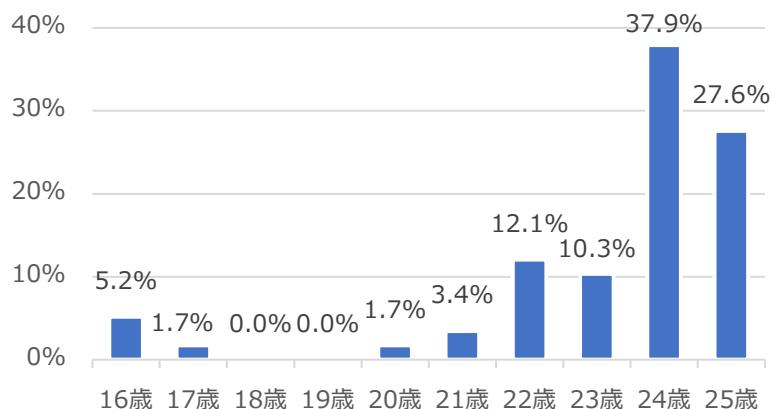
	回答者数(人)	構成比(%)
いる	58	5.6
ない	973	94.4

【図表6】配偶者のいる方×性別 n=58



	回答者数(人)	構成比(%)
男性	15	25.9
女性	43	74.1

【図表7】配偶者のいる方×年齢 n=58



	回答者数(人)	構成比(%)
16歳	3	5.2
17歳	1	1.7
18歳	0	0.0
19歳	0	0.0
20歳	1	1.7
21歳	2	3.4
22歳	7	12.1
23歳	6	10.3
24歳	22	37.9
25歳	16	27.6

2 結婚に関する現状・希望

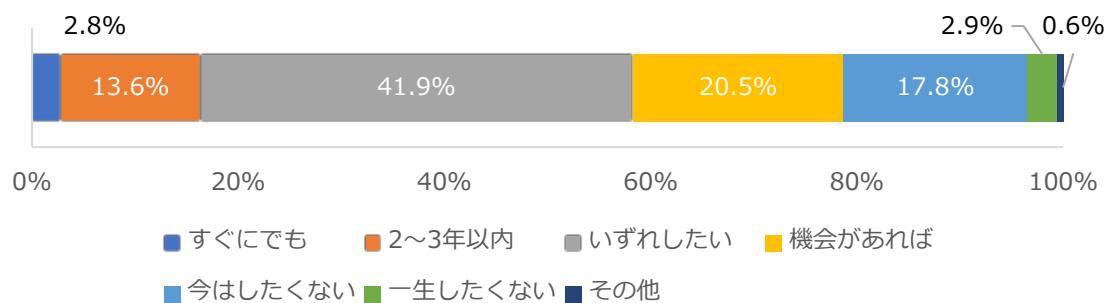
問6 問5で「いない」とした方に伺います。

今後の結婚（事実婚等を含む）の希望をお答えください。

配偶者のいない方の今後の結婚の希望は、「いずれしたい」(41.9%)が最も多く、次いで「機会があればしたい」(20.5%)、「今はしたくない」(17.8%)の順となっており、約8割の方が「したい」と考えています。(図表8)

また、「すぐにでも」「2~3年以内」と回答した方は、23歳を境に急激に増加しています。(図表9)

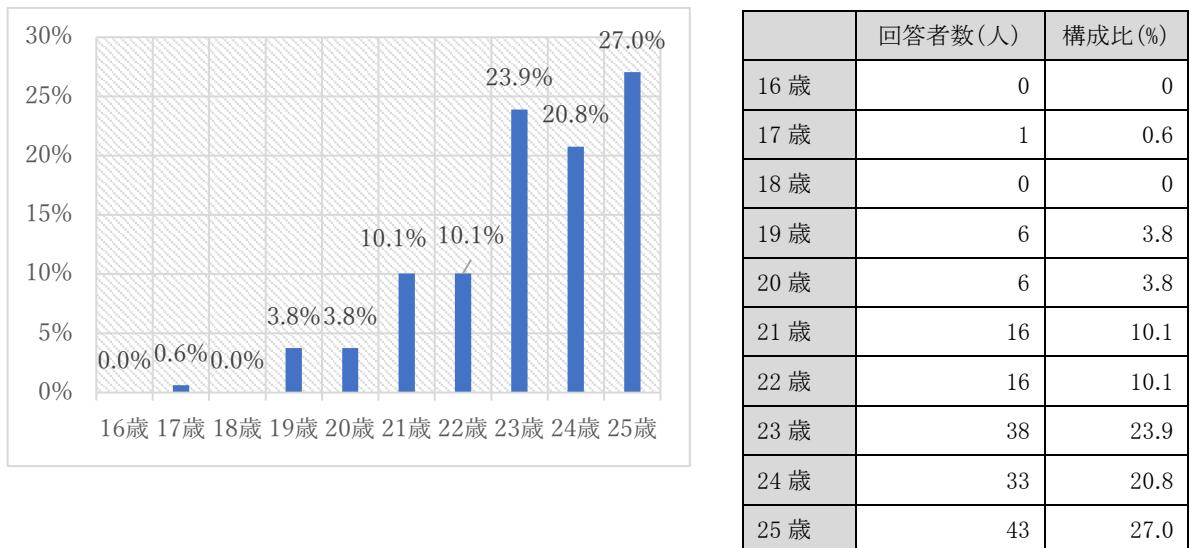
【図表8】結婚の希望 n=973



	すぐにでも	2~3年以内	いずれしたい	機会があれば	今はしたくない	一生したくない	その他
回答者数(人)	27	132	408	199	173	28	6
構成比(%)	2.8	13.6	41.9	20.5	17.8	2.9	0.6

その他として、婚約中、どちらでも構わないといった回答もありました。

【図表9】結婚の希望（すぐにでも、2~3年以内）×年齢 n=159



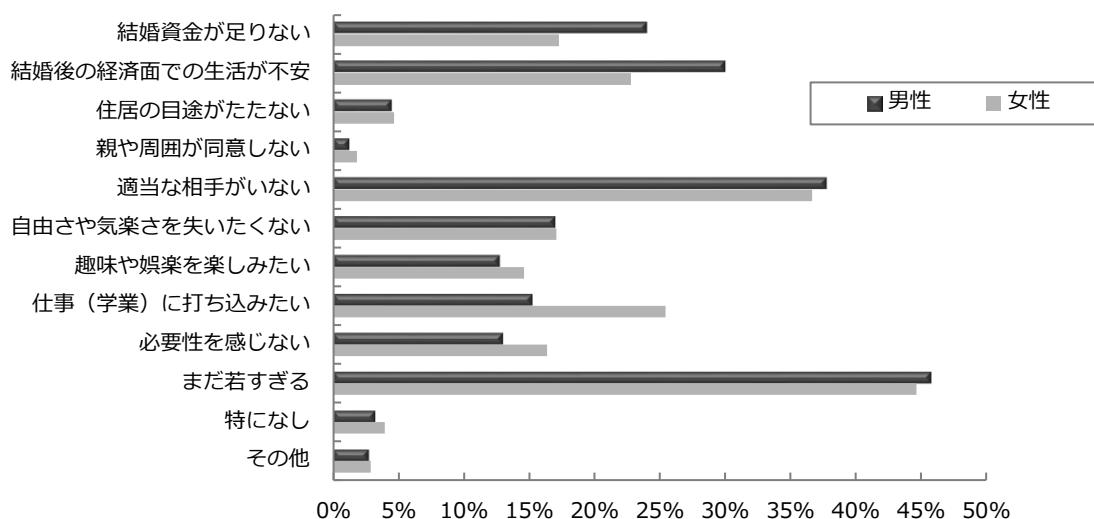
問7 問5で「いない」とした方に伺います。

結婚（事実婚を含む）をしていない理由をお答えください。（3つまで回答可能）

配偶者のいない方の結婚をしていない理由は、「まだ若すぎる」（44.7%）が最も多く、次いで「適当な相手がない」（36.8%）、「結婚後の経済面での生活が不安」（25.8%）の順となっています。そのほか、男性では「結婚資金が足りない」（24.0%）、女性では「仕事（学業）に打ち込みたい」（25.4%）が多くなっています。（図表10）

また、問6において、「すぐにでも」「2～3年以内」と回答した方の結婚をしていない理由は、「結婚後の経済面での生活が不安」（23.9%）、「結婚資金が足りない」（21.0%）といった経済的な理由が多くなっています。（図表11）

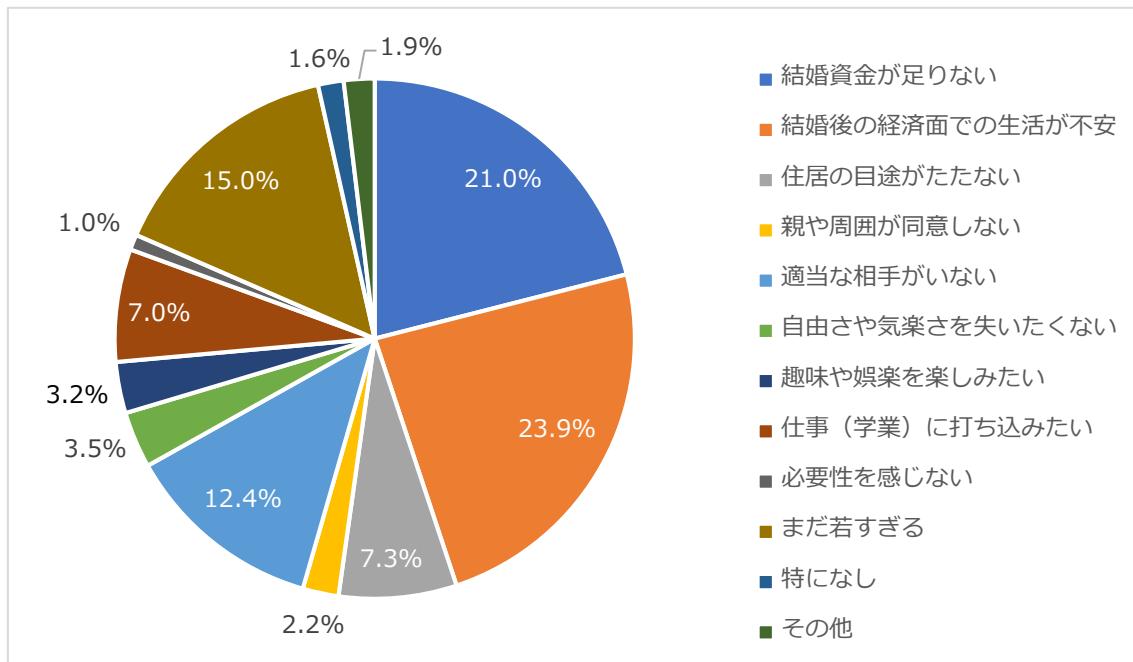
【図表10】結婚をしていない理由×性別 n=962



回答者数（人）（構成比（%））

	資金が足りない	経済面での生活が不安	住居の目途がたたない	親や周囲が同意しない	適当な相手がない	自由さや気楽さを失いたくない
男	96(24.0)	120(30.0)	18(4.5)	5(1.3)	151(37.8)	68(17.0)
女	97(17.3)	128(22.8)	26(4.6)	10(1.8)	206(36.7)	96(17.1)
他	1(9.1)	3(27.3)	1(9.1)	0(0.0)	1(9.1)	4(36.4)
計	194(19.9)	251(25.8)	45(4.6)	15(1.5)	358(36.8)	168(17.3)
	趣味や娯楽を楽しみたい	仕事（学業）に打ち込みたい	必要性を感じない	まだ若すぎる	特になし	その他
男	51(12.8)	61(15.3)	52(13.0)	183(45.8)	13(3.3)	11(2.8)
女	82(14.6)	143(25.4)	92(16.4)	251(44.7)	22(3.9)	16(2.8)
他	3(27.3)	1(9.1)	5(45.5)	1(9.1)	2(18.2)	1(9.1)
計	136(14.0)	205(21.1)	149(15.3)	435(44.7)	37(3.8)	28(2.9)

【図表 11】結婚をしていない理由×結婚の希望（すぐにでも、2～3年以内） n=159



上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）

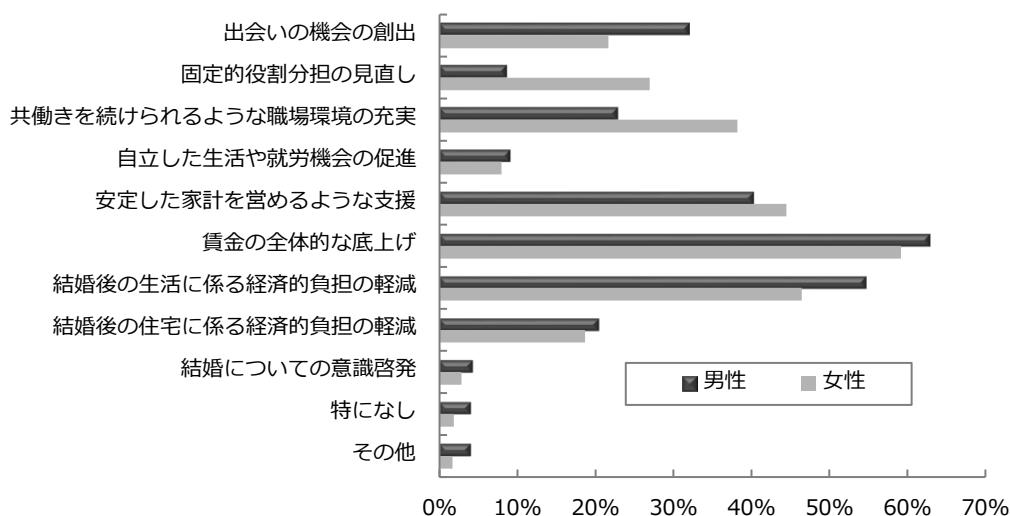
資金が足りない	経済面での生活が不安	住居の目途がたたない	親や周囲が同意しない	適当な相手がない	自由さや気楽さを失いたくない
66	75	23	7	39	11
21.0	23.9	7.3	2.2	12.4	3.5
趣味や娯楽を楽しみたい	仕事（学業）に打ち込みたい	必要性を感じない	まだ若すぎる	特になし	その他
10	22	3	47	5	6
3.2	7.0	1.0	15.0	1.6	1.9

その他として、仕事が忙しすぎる、タイミング待ちといった回答もありました。

問8 結婚（事実婚を含む）を促進するため、有効だと思う支援策をお答えください。
(3つまで回答可能)

結婚（事実婚を含む）を促進するために有効だと思う支援策は、「賃金の全体的な底上げ」(60.6%) が最も多く、次いで「結婚後の生活に係る経済的負担の軽減」(49.7%)、「安定した家計を営めるような支援」(42.5%) の順となっています。そのほか、男性では「出会いの機会の創出」(32.0%)、女性では「共働きを続けられるような職場環境の充実」(38.2%) が多くなっています。(図表12)

【図表12】結婚を促進するため有効だと思う支援策×性別 n=1,020



上段：回答者数(人)、下段：構成比(%)

	出会いの機会の創出	固定的役割分担の見直し	共働きを続けられるような職場環境の充実	自立した生活や就労機会の促進	安定した家計を営めるような支援	賃金の全体的な底上げ
男	133(32.0)	36(8.7)	95(22.9)	38(9.2)	167(40.2)	261(62.9)
女	131(21.7)	163(26.9)	231(38.2)	48(7.9)	269(44.5)	358(59.2)
他	2(18.2)	4(36.4)	4(36.4)	0(0.0)	2(18.2)	6(54.5)
計	266(25.8)	203(19.7)	330(32.0)	86(8.3)	438(42.5)	625(60.6)
	結婚後の生活に係る経済的負担の軽減	結婚後の住宅に係る経済的負担の軽減	結婚についての意識啓発	特になし	その他	
男	227(54.7)	85(20.5)	18(4.3)	17(4.1)	17(4.1)	
女	281(46.4)	113(18.7)	17(2.8)	11(1.8)	10(1.7)	
他	4(36.4)	0(0.0)	1(9.1)	1(9.1)	1(9.1)	
計	512(49.7)	198(19.2)	36(3.5)	29(2.8)	28(2.7)	

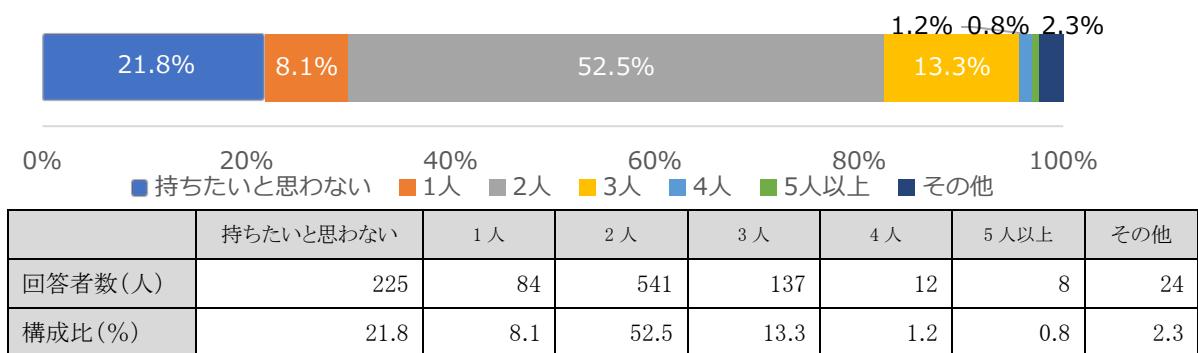
その他として、結婚後・産後のキャリア保障や減税といった回答もありました。

3 子育てに関する希望・環境

問9 今後、子どもを持ちたいと思いますか。持ちたいと思う場合は、理想の人数をお答えください。

理想の子どもの人数は、「2人」(52.5%)が最も多く、次いで「持ちたいと思わない」(21.8%)、「3人」(13.3%)の順となっています。(図表13)

【図表13】理想の子どもの人数 n=1,031

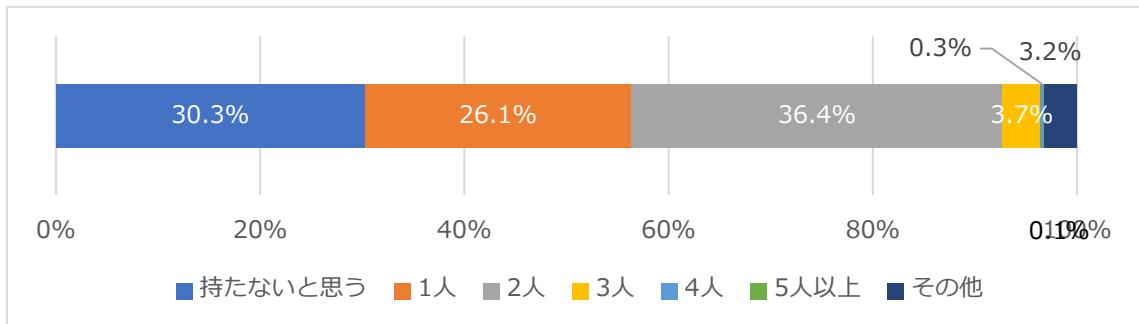


その他として、わからない、考えたことがないといった回答もありました。

問10 あなたを取り巻く環境を踏まえ、現実的に持つことになるであろうお子さんの人数をお答えください。

現実的に持つであろう子どもの人数は、「2人」(36.4%)が最も多く、次いで「持たないと思う」(30.3%)、「1人」(26.1%)の順となっています。(図表14)

【図表14】現実的に持つであろう子どもの人数 n=1,031



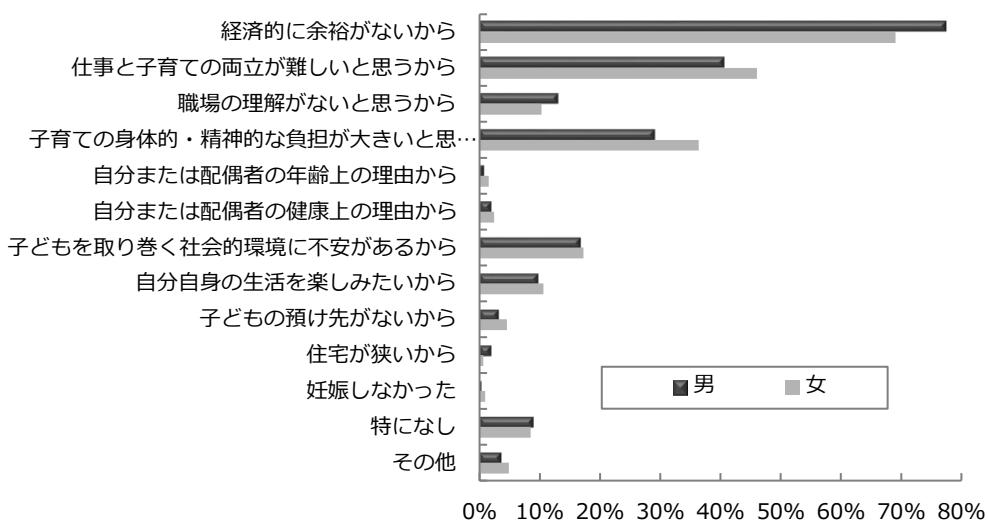
	持たないと思う	1人	2人	3人	4人	5人以上	その他
回答者数(人)	312	269	375	38	3	1	33
構成比(%)	30.3	26.1	36.4	3.7	0.3	0.1	3.2

その他として、わからない、現時点で決められないといった回答もありました。

問11 現実的に持つであろう子どもの人数が、理想の人数よりも少ない場合、その理由をお答えください。(3つまで回答可能)

現実的に持つであろう子どもの人数が理想の人数よりも少ない理由は、「経済的に余裕がないから」(72.4%) が最も多く、次いで「仕事と子育ての両立が難しいと思うから」(43.6%)、「子育ての身体的・精神的な負担が大きいと思うから」(33.3%) の順となっています。(図表15)

【図表15】現実的に持つであろう子どもの人数が理想より少ない理由 n=580



回答者数(人)(構成比(%))

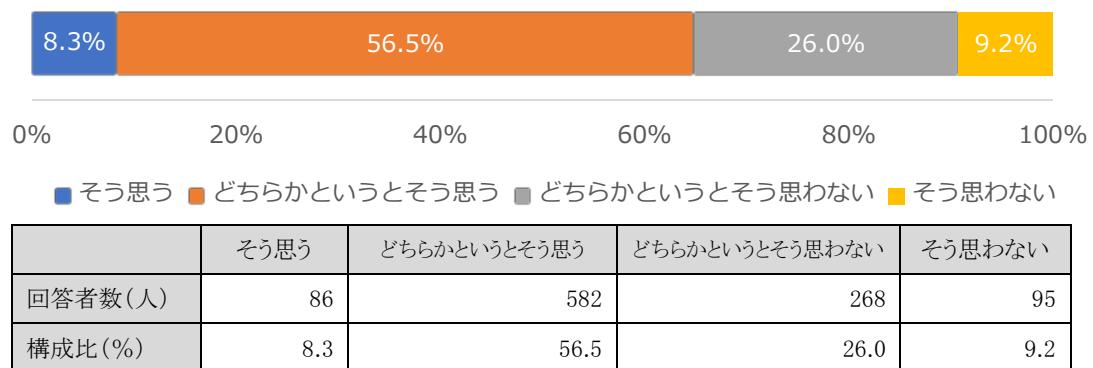
	経済的に余裕がないから	仕事と子育ての両立が難しいと思うから	職場の理解がないと思うから	子育ての身体的・精神的な負担が大きいと思うから	自分または配偶者の年齢上の理由から
男	189(77.5)	99(40.6)	32(13.1)	71(29.1)	2(0.8)
女	228(69.1)	152(46.1)	34(10.3)	120(36.4)	5(1.5)
他	3(50.0)	2(33.3)	0(0.0)	2(33.3)	0(0.0)
計	420(72.4)	253(43.6)	66(11.4)	193(33.3)	7(1.2)
	自分または配偶者の健康上の理由から	子どもを取り巻く社会的環境に不安があるから	自分自身の生活を楽しみたいから	子どもの預け先がないから	住宅が狭いから
男	5(2.0)	41(16.8)	24(9.8)	8(3.3)	5(2.0)
女	8(2.4)	57(17.3)	35(10.6)	15(4.5)	2(0.6)
他	0(0.0)	1(16.7)	1(16.7)	1(16.7)	0(0.0)
計	13(2.2)	99(17.1)	60(10.3)	24(4.1)	7(1.2)
	妊娠しなかった	特になし	その他		
男	1(0.4)	22(9.0)	9(3.7)	その他として、妊娠・出産が辛そう、わからないといった回答もありました。	
女	3(0.9)	28(8.5)	16(4.8)		
他	0(0.0)	2(33.3)	0(0.0)		
計	4(0.7)	52(9.0)	25(4.3)		

問12 千葉市は子育てしやすいまちだと思いますか。

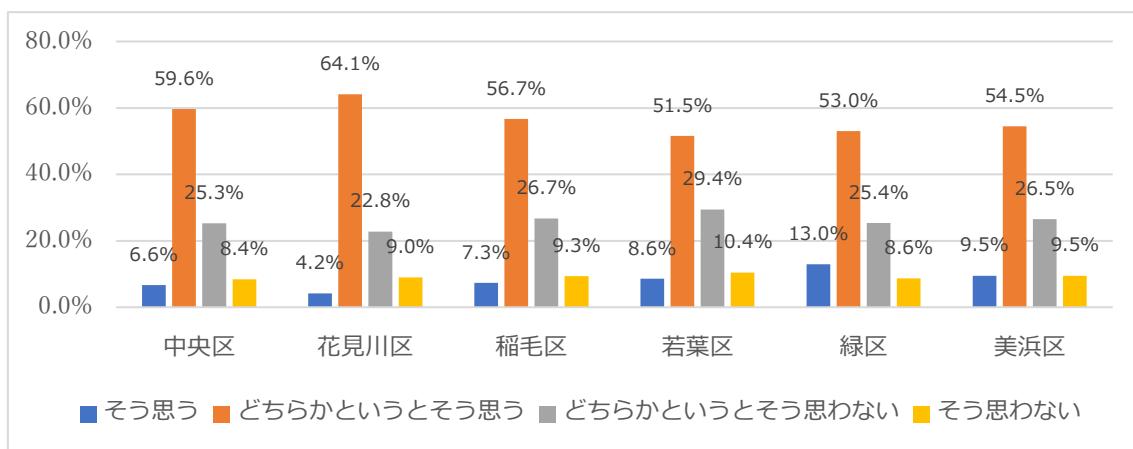
千葉市は子育てしやすいまちかどうかについては、「どちらかというとそう思う」(56.5%) が最も多く、「そう思う」(8.3%) とあわせて 64.8%の方が子育てしやすいまちだと思っています。(図表 16)

また、行政区別では、「花見川区」(68.3%) が最も多く、次いで「中央区」(66.3%)、「緑区」(65.9%) の順となっています。(図表 17)

【図表 16】千葉市は子育てしやすいまちだと思いますか n=1,031



【図表 17】千葉市は子育てしやすいまちだと思いますか×お住まいの区 n=1,031



回答者数(人) (構成比(%))

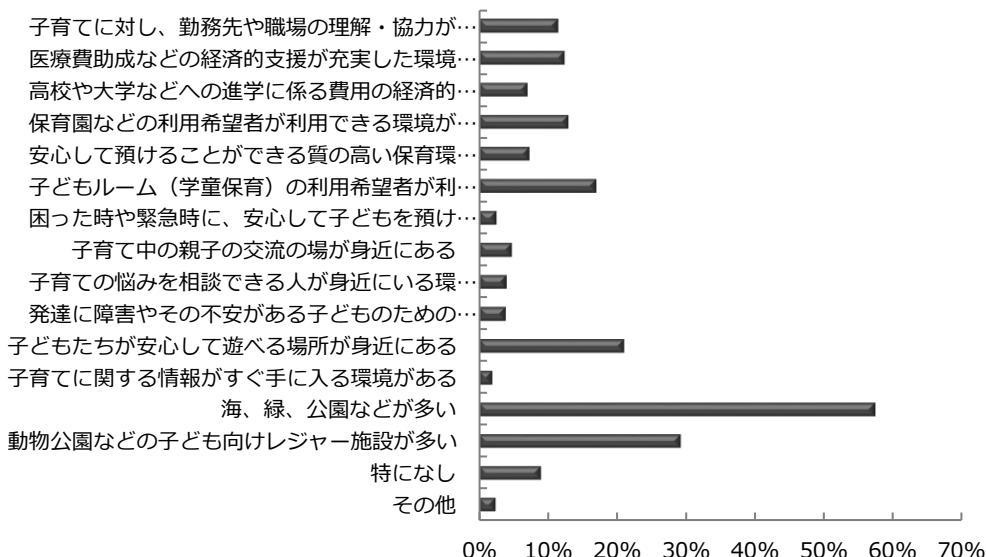
	そう思う	どちらかというとそう思う	どちらかというとそう思わない	そう思わない
中央区	11(6.6)	99(59.6)	42(25.3)	14(8.4)
花見川区	7(4.2)	107(64.1)	38(22.8)	15(9.0)
稲毛区	11(7.3)	85(56.7)	40(26.7)	14(9.3)
若葉区	14(8.6)	84(51.5)	48(29.4)	17(10.4)
緑区	24(13.0)	98(53.0)	47(25.4)	16(8.6)
美浜区	19(9.5)	109(54.5)	53(26.5)	19(9.5)

問 13-1 問 12 で「そう思う」「どちらかというとそう思う」とした方に伺います。

主な理由をお答えください。(3つまで回答可能)

千葉市は子育てしやすいまちかどうかについて「そう思う」「どちらかというとそう思う」と答えた主な理由は、「海、緑、公園などが多い」(57.5%)が最も多く、次いで「動物公園などの子ども向けレジャー施設が多い」(29.3%)、「子どもたちが安心して遊べる場所が身近にある」(21.1%)の順となっています。(図表 18)

【図表 18】千葉市は子育てしやすいまちだと思うか(肯定) n=668



回答者数(人)(構成比(%))

子育てに対し、勤務先や職場の理解・協力が得られる環境がある	医療費助成などの経済的支援が充実した環境がある	高校や大学などへの進学に係る費用の経済的支援が充実した環境がある	保育園などの利用希望者が利用できる環境がある
77(11.5)	83(12.4)	47(7.0)	87(13.0)
安心して預けることができる質の高い保育環境がある	子どもルーム（学童保育）の利用希望者が利用できる環境がある	困った時や緊急時に、安心して子どもを預けられる環境がある	子育て中の親子の交流の場が身近にある
49(7.3)	114(17.1)	17(2.5)	32(4.8)
子育ての悩みを相談できる人が身近にいる環境がある	発達に障害やその不安がある子どものための施設や相談窓口等の支援が充実した環境がある	子どもたちが安心して遊べる場所が身近にある	子育てに関する情報がすぐ手に入る環境がある
27(4.0)	26(3.9)	141(21.1)	13(1.9)
海、緑、公園などが多い	動物公園などの子ども向けレジャー施設が多い	特になし	その他
384(57.5)	196(29.3)	60(9.0)	16(2.4)

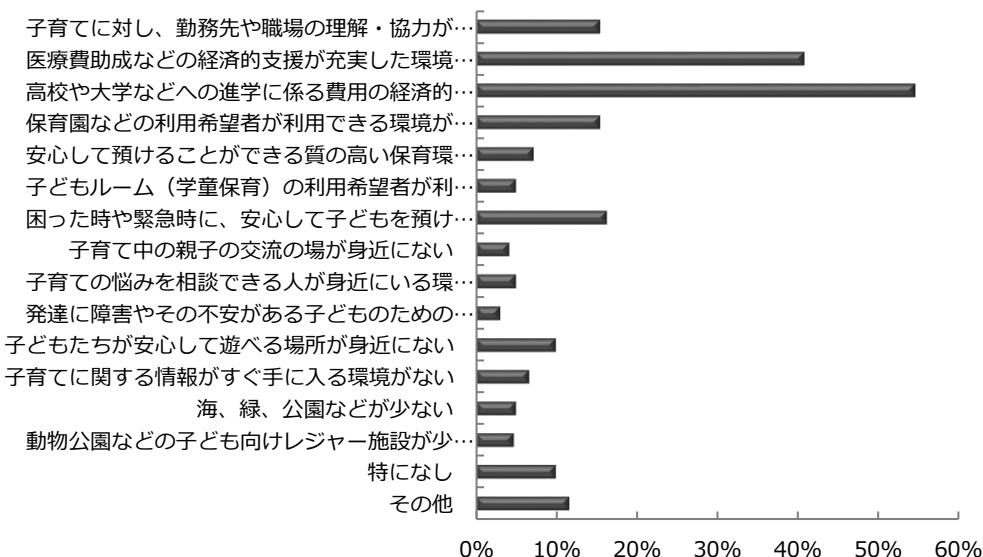
その他として、都心に近い、学校が多いといった回答もありました。

問 13-2 問 12 で「どちらかというとそう思わない」「そう思わない」とした方に伺います。

主な理由をお答えください。(3つまで回答可能)

千葉市は子育てしやすいまちかどうかについて「どちらかというとそう思わない」「そう思わない」と答えた主な理由は、「高校や大学などへの進学に係る費用の経済的支援が充実した環境がない」(54.5%) が最も多く、次いで「医療費助成などの経済的支援が充実した環境がない」(40.8%) の順となっています。(図表 19)

【図表 19】千葉市は子育てしやすいまちだと思うか(否定) n=363



回答者数(人)(構成比(%))

子育てに対し、勤務先や職場の理解・協力が得られる環境がない	医療費助成などの経済的支援が充実した環境がない	高校や大学などへの進学に係る費用の経済的支援が充実した環境がない	保育園などの利用希望者が利用できる環境がない
56(15.4)	148(40.8)	198(54.5)	56(15.4)
安心して預けることができる質の高い保育環境がない	子どもルーム(学童保育)の利用希望者が利用できる環境がない	困った時や緊急時に、安心して子どもを預けられる環境がない	子育て中の親子の交流の場が身近にない
26(7.2)	18(5.0)	59(16.3)	15(4.1)
子育ての悩みを相談できる人が身近にいる環境がない	発達に障害やその不安がある子どものための施設や相談窓口等の支援が充実した環境がない	子どもたちが安心して遊べる場所が身近にない	子育てに関する情報がすぐ手に入る環境がない
18(5.0)	11(3.0)	36(9.9)	24(6.6)
海、緑、公園などが少ない	動物公園などの子ども向けレジャー施設が少ない	特になし	その他
18(5.0)	17(4.7)	36(9.9)	42(11.6)

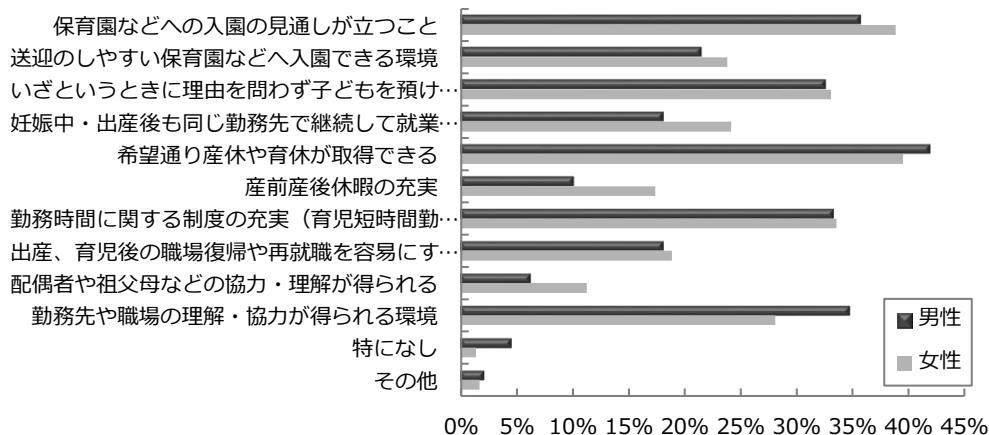
その他として、賃金が低い、子どもが少ないといった回答もありました。

問14 仕事と子育てを両立するためにあればよいと思うことをお答えください。

(3つまで回答可能)

仕事と子育てを両立するためにあればよいと思うことは、「希望通り産休や育休が取得できる」(40.4%) が最も多く、次いで「保育園などへの入園の見通しが立つこと」(37.4%)、「勤務時間に関する制度の充実」(33.3%) の順となっています。(図表20)

【図表20】仕事と子育ての両立にあればよいと思うこと n=1,031



回答者数（人）（構成比（%））

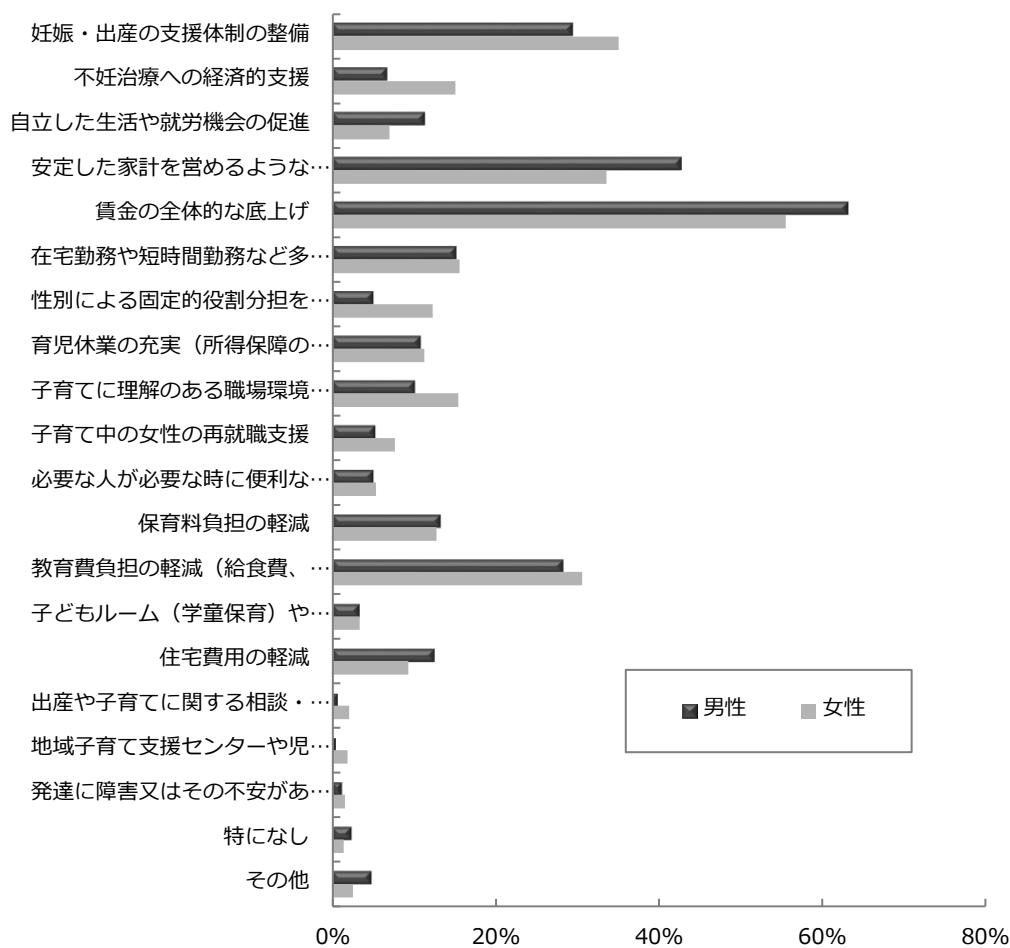
	保育園などへの入園の見通しが立つこと	送迎のしやすい保育園などへ入園できる環境	いざというときに理由を問わず子どもを預けられるサポート体制	妊娠中・出産後も同じ勤務先で継続して就業できる環境がある
男	148(35.7)	89(21.4)	135(32.5)	75(18.1)
女	235(38.8)	144(23.8)	200(33.1)	146(24.1)
他	3(27.3)	2(18.2)	5(45.5)	5(45.5)
計	386(37.4)	235(22.8)	340(33.0)	226(21.9)
	希望通り産休や育休が取得できる	産前産後休暇の充実	勤務時間に関する制度の充実	出産、育児後の職場復帰や再就職を容易にするための支援の充実
男	174(41.9)	42(10.1)	138(33.3)	75(18.1)
女	239(39.5)	105(17.4)	203(33.6)	114(18.8)
他	4(36.4)	0(0.0)	2(18.2)	2(18.2)
計	417(40.4)	147(14.3)	343(33.3)	191(18.5)
	配偶者や祖父母などの協力・理解が得られる	勤務先や職場の理解・協力が得られる環境	特になし	その他
男	26(6.3)	144(34.7)	19(4.6)	9(2.2)
女	68(11.2)	170(28.1)	8(1.3)	10(1.7)
他	0(0.0)	5(45.5)	1(9.1)	0(0.0)
計	94(9.1)	319(30.9)	28(2.7)	19(1.8)

その他として、休職中の経済的支援といった回答もありました。

問15 少子化対策として、有効だと思う支援策をお答えください。（3つまで回答可能）

少子化対策として有効だと思う支援策は、「賃金の全体的な底上げ」（58.6%）が最も多く、次いで「安定した家計を営めるような支援」（37.2%）、「妊娠・出産の支援体制の整備」（32.6%）の順となっています。（図表21）

【図表21】少子化対策として有効だと思う支援策 n=1,031



回答者数（人）（構成比（%））

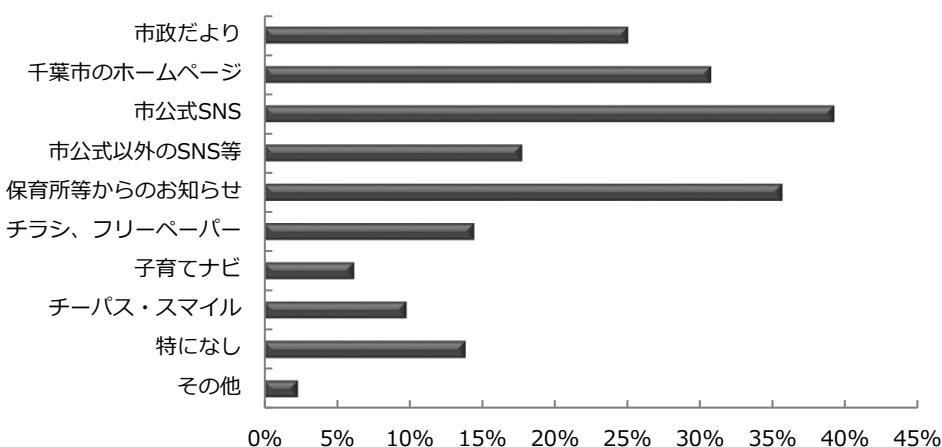
	妊娠・出産の支援体制の整備	不妊治療への経済的支援	自立した生活や就労機会の促進	安定した家計を営めるような支援
男	122(29.4)	28(6.7)	47(11.3)	177(42.7)
女	212(35.0)	91(15.0)	42(6.9)	203(33.6)
他	2(18.2)	2(18.2)	2(18.2)	4(36.4)
計	336(32.6)	121(11.7)	91(8.8)	384(37.2)
	賃金の全体的な底上げ	在宅勤務や短時間勤務など 多様・柔軟な働き方の 選択可能な社会の実現	性別による固定的役割分担を 見直し、男女が協力して家庭 生活を行う環境づくり	育児休業の充実（所得保障の 充実、期間の延長）や仕事と 家庭の両立支援
男	262(63.1)	63(15.2)	21(5.1)	45(10.8)
女	336(55.5)	94(15.5)	74(12.2)	68(11.2)
他	6(54.5)	1(9.1)	3(27.3)	0(0.0)
計	604(58.6)	158(15.3)	98(9.5)	113(11.0)
	子育てに理解のある職場環境 の整備（育児休業や子どもの病 気等で休暇が取りやすい等）	子育て中の女性の 再就職支援	必要な人が必要な時に便利な 場所で保育が受けられる 環境の整備	保育料負担の軽減
男	42(10.1)	22(5.3)	21(5.1)	55(13.3)
女	93(15.4)	46(7.6)	32(5.3)	77(12.7)
他	4(36.4)	1(9.1)	0(0.0)	1(9.1)
計	139(13.5)	69(6.7)	53(5.1)	133(12.9)
	教育費負担の軽減（給食費、 塾・習い事など）	子どもルーム（学童保育）や 一時的に子どもを預かってくれる公的施設の整備	住宅費用の軽減	出産や子育てに関する 相談・指導の充実
男	117(28.2)	14(3.4)	52(12.5)	3(0.7)
女	185(30.6)	20(3.3)	56(9.3)	12(2.0)
他	2(18.2)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
計	304(29.5)	34(3.3)	108(10.5)	15(1.5)
	地域子育て支援センターや 児童館など子どもが安心して 遊べる場の確保	発達に障害又はその不安がある子どものための施設や 相談窓口の整備	特になし	その他
男	2(0.5)	5(1.2)	10(2.4)	20(4.8)
女	11(1.8)	9(1.5)	8(1.3)	15(2.5)
他	0(0.0)	1(9.1)	0(0.0)	0(0.0)
計	13(1.3)	15(1.5)	18(1.7)	35(3.4)

その他として、多子世帯への支援の充実、税額控除を増やすといった回答もありました。

問 16 市から発信される「子育てに関する情報」を入手しやすいと思う方法お答えください。(3つまで回答可能)

子育てに関する情報を入手しやすいと思う方法は、「市公式SNS」(39.3%) が最も多く、次いで「保育所等からのお知らせ」(35.7%)、「千葉市ホームページ」(30.7%) の順となっています。(図表 22)

【図表 22】子育てに関する情報の入手しやすいと思う方法 n=1,031



	市政だより	千葉市のホームページ	市公式SNS	市公式以外のSNS等	保育所等からのお知らせ
回答者数(人)	258	317	405	183	368
構成比(%)	25.0	30.7	39.3	17.7	35.7
	チラシ、フリーペーパー	子育てナビ	チーパス・スマイル	特になし	その他
回答者数(人)	149	64	101	143	24
構成比(%)	14.5	6.2	9.8	13.9	2.3

その他として、LINE や産婦人科でのお知らせといった回答もありました。